

団体移動手段に関するアンケート調査結果（比較と課題のまとめ）

【調査の前提】 本調査は電子メールの範囲で実施した簡易的な調査であり、全体のすべてを網羅したものではありません。回答に矛盾が見られたデータは実態に合わせて補正した上で集計しています。（手配実績：計 314 件）

1. 移動回数による 2 つのグループの比較

自ら車や運転手の手配を行った移動（314 件）を、移動回数が「少ないグループ（年間 1～11 回、計 91 件）」と「多いグループ（年間 12 回以上、計 223 件）」に分けて比較すると、手配の仕方に異なる傾向が見られます。

■ ① 主な移動手段の比較

【少ないグループ（計 91 件）】



【多いグループ（計 223 件）】



■ ② 車両の調達手段の比較

【少ないグループ（計 91 件）】



【多いグループ（計 223 件）】



【手配傾向の違いのまとめ】

移動回数が少ないグループは、半数以上（56.0%）が専門の事業者から車両を借りており、身内の乗用車利用はごくわずかです。これに対して、移動回数が多いグループは専門業者の利用が少なく（6.7%）、自前の車両や会員の自家用車を合わせた約 7 割（70.9%）を自分たちでまかなう「自給自足型」の手配が多いのが特徴です。

2. 移動回数が多いグループの状況

移動が多いグループの移動（223 件）を「運転手の調達」と「費用の有無」の組み合わせから分析すると、身内への協力依頼が顕著な傾向です。

■ ③ 運転手の調達方法と費用の内訳（移動が多いグループ・計 223 件）

【運転手の頼み方】



【費用の負担】



回数が多いグループでは、運転手の半分以上（52.0%）を保護者や職員などの会員に依頼しており、専門の事業者に依頼するケースはわずか 4.9%となっています。また、移動の 7 割以上（72.6%）が「無償」であることから、会員への依頼の多くが無償の状況と想定されます。

3.まとめ

- 移動回数が少ない団体

多くの団体は専門の事業者から車両や運転手を調達しており、事故等のリスクは低いと考えられます。

- 移動回数が多い団体

車両の調達を「会員個人の自家用車」から行い、保険も「運転手個人が加入している任意保険（計 68 件）」というケースが多く、事故等のリスクは高いと考えられます。

また、移動への不安について「特になし・未回答」が全体の約 9 割（89.1%）を占めており、団体内や移動参加者間で事故等のリスクについて共有が進んでいない状況と考えられます。